

令和元年(2019年)度事業実績

事業名	女性のための就職応援セミナー ① 面接だけじゃない！就職後も役立つ『ビジネスマナーの基本』 ② 知って得するマナーの基本『社会で必要なお金の知識と貯金の話』				
目的	女性とその個性と能力を發揮し活躍できるよう、学生を含む就職希望の女性を対象に、社会で働く上で必要な基礎知識を身に付けることを目的とする。				
対象	15歳～50歳程度の就職(アルバイト含む)希望の女性				
受講定員	各回20人	申込数	①7人 ②8人	当日数	①6人 ②4人
保育定員	各回8人	申込数	①1人 ②0人	当日数	①1人 ②0人
充足率	①30% ②20%	受講者満足度	①100% ②100%	新規受講者率	①33% ②25%
内容	講座名・講師	日時・場所	内容	アンケート結果	
	①面接だけじゃない！就職後も役立つ『ビジネスマナーの基本』 【講師】 (株)アクトプランニング 代表取締役 中地 陽子 さん	12月15日(日) 午前 10:00～正午 404・405	面接のみならず、働くにあたって顧客対応などの様々な場面で求められるビジネスマナーについて	《アンケート回収数》6人 【感想】①大変よかった6人②よかった0人③普通0人④あまりよくなかった0人⑤無回答0人 【年代】20代～50代 【意見】 ・とても分かりやすく伝わってきて、すんなり入ってきた。今までもビジネスマナーは習ってきたが、一番分かりやすかった。 ・マナーの基本を教えていただき、とても貴重な時間でした。時間不足だったことだけが残念でした。中地先生のマナーシリーズで1日または数回開催してほしいです(特にメールについて)	
②知って得するマナーの基本『社会で必要なお金の知識と貯金の話』 【講師】 (株)マイライフエフピー代表・ファイナンシャルプランナー 加藤 葉子 さん	12月21日(土) 午前 10:00～正午 404・405	社会に出て働くにあたり避けては通れない、かつ学校等では詳しく教えてもらえない『税』や『保険』などのお金に関する知識について	《アンケート回収数》4人 【感想】①大変よかった4人②よかった0人③普通0人④あまりよくなかった0人⑤無回答0人 【年代】40代～50代 【意見】 ・少数者だったので、ワキアイアイで質問がしやすくて良かったです。色々なたくさんさんの情報ありがとうございます。 ・お話が身近でとても分かりやすかったです。家計やお金のことは気になりながらも放っておきがちで…今回、目からうろこでした。ありがとうございました。		
ちらし・講座様子	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>①12/15</p>  <p>②12/21</p>  </div> </div>				
評価と今後の改善点	今回の講師には初めて依頼した方も含まれていたが、アンケートを見る限り参加者の満足度は高く、講師選定は間違っていなかったと感じる。しかし、日程選定等で対象者のニーズに合っておらず、集客がうまくいかなかった。対象層ごとの曜日による集客の難易度の違いや、そもそも12月という開催時期自体が集客を見込み辛いこと、そして条件が一つでも合わなければ申込には繋がらないこと等、学ぶべき事象、認識すべき問題が多く見えた。今後はこのような課題の解決に向けて、企画の内容・運営・広報等工夫していきたい。				



令和元年(2019年)度事業実績

事業名	起業したい女性の交流会							
目的	女性活躍推進法が施行され、職業生活における女性の活躍を推進する必要がある、女性のライフスタイルに合わせて、在宅や自分のペースでできる起業に対してニーズもある。起業を志す女性同士のつながりを深めるため交流会を開催し、女性の起業を支援することを目的とする。							
対象	起業に関心のある方。起業して間もない方。							
内容	実施日時・場所	詳細				講師名		
	令和元年12月19日(木) 午前10:00～正午 5階研修室 501・502	第一部 10:00～10:45 ミニセミナー ・自己紹介、起業に至った経緯、起業してよかったこと、苦労したこと ・起業したい人へ伝えたいこと ・参加者からの質問 第二部 10:45～12:00 交流会(軽食あり) 参加者の自己紹介、質問など				女性とシングルマザーの お金の専門家 加藤 葉子 さん		
	受講定員	20人	申込数	8人	参加者	7人	充足率	35%
	満足度	100%	新規率	100%	保育定員	3人	保育利用者	1人
アンケート結果 回収6枚	<p>【感想】①大変よかった 5人 ②よかった 1人 ③普通 0人 ④よくなかった 0人 【年代】①20代 0人 ②30代 0人 ③40代 3人 ④50代 2人 ⑤60代1人 【交流会に参加しようと思った動機(複数回答可)】 ①先輩起業家の話が聴ける 6人 ②先輩起業会に質問したいことがある 1人 ③起業したいと思っている人と情報を共有できる 3人 ④仲間づくりができる 1人 【どのような起業をめざしている?(既に起業している場合はその内容)】 カウンセリングルーム、社会保険労務士、FP、カフェ・ギャラリー、具体的な予定はない(2人) 【今後利用したいと思う支援(複数回答可)】 ①起業家仲間の交流の場 3人 ②起業のための準備の場 1人 ③チャレンジできる場 3人 ④個別相談窓口 3人</p>							
講座様子	 <p style="text-align: center;">交流会</p>							
評価と今後の改善点	満足度は100%と高い。交流会は、充足率は高くないが、当日の様子は講師・参加者ともに互いの距離が近く、参加者同士が話をするなど積極的に交流する姿が多く見られた。もっと大人数と交流したいという希望は無かったため、次回は、必要なら定員を見直し、さらに質の高い、実際の起業につながるような交流会とすることをめざす。							


令和元年(2019年)度事業実績

事業名	おとう飯始めよう！					
目的	男性の家庭生活・地域活動への参画等につなげ、豊かな生活の一助となることを目的とする。また、男女共同参画の意義を理解していただく機会とする。					
対象	茨木市在住・在勤・在学者の父と子(小学生)					
内容	受講定員	各回8組	満足度	100%	新規参加者率	57%
	実施日時・場所	午前10:00～午後0:30 3階料理工房				
		講師名	申込人数	参加人数	充足率	保育人数
	5月25日(土)	てっぱん割烹 池輝 池端 利信さん	8組	親8人 子12人	100%	1人
	7月28日(日)	ベーカリーK2 濱岡 浩史さん	7組	親6人 子6人	75%	1人
	9月22日(日)	管理栄養士 谷口 莉葉子さん	8組	親8人 子10人	100%	0人
	11月24日(日)	雁飯店 大岩 賢悟さん	8組	親7人 子9人	87%	1人
	1月25日(土)	cafe まめり 小城 かおりさん	8組	親8人 子9人	94%	0人
	3月22日(日)	茨木旬菓庵 葛屋 田中 俊之さん	臨時休所(新型コロナウイルス対策)のため中止			
	<p>【感想】アンケート回収枚数 37枚/37組 83人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初魚をさばくのかと思って心配だったが、切って焼くだけで良かったので良かったです。魚さばくのも、やってみたい気持ちも出ました。 ・料理のことがよく分かった。(包丁のもちかたなど) ・普段子どもと一緒に食事など作れないのでとても有意義な時間が過ごせました。 ・前から天津飯をつくりたかったのでよかった。家でもつくりたい。 ・とても楽しく学べました。食後の質問コーナー楽しかったです。 ・家での料理をする際は、子どもが手伝いをしても最後までもたないが、人前では、途中で飽きることなくやりきれるので人前で料理する機会があれば参加させて頂きたいです。 ・サポートをとても親切にいただき、安心して挑戦できました。忘れないうちに家でつくります。 ・こうやってぜんぶじぶんでつくるとはおもっていなかったからびっくりした。 ・毎日ごはんをつくってくれるお母さんはすごいと思った。手伝いたい。 					
ちらし・講座の様子						
評価と今後の改善点	<p>毎回、あっという間に定員に達し、当日のキャンセルはほとんどなく人気の講座である。リピーターに偏りが出てきたので、なるべくたくさんの方に参加してもらえるよう講師の入れ替えなども行い、マンネリ化を防ぎたい。講座で体得したことを家庭で実践してもらえるような工夫を考えていきたい。</p>					

令和元年(2019年)度事業実績

事業名	男が学ぶ・遊ぶ・楽しむ！講座 初心者男の料理						
目的	男性の地域活動への参画等につなげ、豊かな生活の一助となることを目的とする。						
対象	茨木市在住・在勤・在学の男性						
講師名	ローズWAM職員						
実施場所	料理工房						
実施時間	午前10:00～午後1:00	受講定員	各回 8人		保育定員	各回 2人	
内容	実施日時	申込人数	参加人数	満足度	充足率	新規参加者率	保育人数
	12月21日(土)	8人	7人	100%	88%	43%	0人
	2月23日(日)	8人	新型コロナウイルス対策により中止				
アンケート結果	回収数	7枚/参加者7人					
	<p>【感想】(大変よい) 5人 (よい) 2人 (普通) 0人 (あまりよくない) 0人 【年代】(40代)2人 (60代)4人 (70代)1人 【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段料理をしないので大変でした。妻のありがたみがわかりました。 ・妻にも作ろうと思います。楽しかったです。 ・初めて作ったおせち料理で、色々知識と実践も体験できてありがとうございました。 ・世の女性の方の大変さが良く分かりました。今後は少しでも料理の手伝いできればと思います。 ・こんなに手間がかかるなんて思いがけないことで、今後の私生活に十分生かせると思いました。 ・簡単に作れて良かったです。また違う料理に申し込みたいと思います。 ・品数がもう少し少ない方が、と思いました。帰ってからの復習がたいへん。 ・一食作るのに、係の方は準備が大変と思いました。2時間もかけてやっと出来上がって安堵した。 						
講演会様子・ちらし	 						
評価と今後の改善点	<p>今回はおせち料理ということで品数が多く、ひとつひとつは簡単でも結構時間もかかり「初心者」と銘打っているわりにはハードルが高かったかもしれないが、それにより今までどれだけ女性が大変であったのか気付いた方も多かったようだ。 料理の講座は、メニュー決め・段取りの調整・買出し・当日、と担当の職員の負担が多く、講座の運営方法について再検討する必要があると感じた。</p>						

令和元年(2019年)度事業実績

事業名	男が学ぶ・遊ぶ・楽しむ！講座 男のヨガ						
目的	男性の地域活動への参画等につなげ、豊かな生活の一助となることを目的とする。						
対象	茨木市在住・在勤・在学の男性						
講師名	健康ヨーガ 大澤 美智子 さん						
実施場所	ローズホール						
実施時間	午前10:00～正午	受講定員	各回 15人		保育定員	各回 5人(6/8は除く)	
内容	実施日時	申込人数	参加人数	満足度	充足率	新規参加者率	保育人数
	6月8日(土)	15人	12人	100%	80%	67%	
	8月10日(土)	15人	11人	100%	79%	45%	2人
	10月12日(土)	15人	台風により中止				
アンケート結果	回収数	21枚/参加者23人					
	<p>【感想】(大変よい) 16人 (よい) 5人 (普通) 0人 (あまりよくない) 0人 【年代】(20代)1人 (30代)5人 (40代)1人 (50代)1人 (60代)9人 (70代)4人 【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体がとてもリラックスできて良かった。男性専用の講座があまりないので、また参加したい。 ・筋の緊張を弛緩、呼吸の大切さを学びました。日常、これからも実践していきます。 ・普段できない体験ができて良かった。少し筋肉の緩みやリラックスを体感できた。今後も継続していくことが必要だと感じた。 ・月に1回はやってほしい。 ・前回も参加した。今回は前回の復習になり、より理解が深まった。 ・初めてだったがよく理解できた。また参加したい。 						
講演会様子・ちらし	 						
評価と今後の改善点	<p>初めての試みで、申込状況がどうなるのか不安であったが、20代から70代まで幅広く需要があり盛況であった。 定員の変更、保育の追加、キャンセル待ちなど、回を重ねるごとに講座の運営方法を改善をしていった。よりよいものをと改善しているなかで、3回目が台風により中止になったのは運営側にも参加者にとっても残念であった。 本当は興味があるのに女性の中でするのはちょっと…と思っていた男性が多いことがわかり、来年度も今年度の反省をいかしてより良い講座が開けたらと思う。</p>						

令和元年(2019年)度事業実績

事業名	私のモヤモヤスッキリアンガーマネジメント講座					
目的	生きづらさを抱える人が、怒りをコントロールする心理トレーニングを学ぶことにより、心身の健康を図るとともに心地いい人間関係を築き、だれもが健やかに安心して暮らせる社会の実現を図ることを目的とする。					
対象	どなたでも					
講師名	(一般社団法人)日本アンガーマネジメント協会認定ファシリテーター・アドバイザー・キッズインストラクター (一般社団法人)JSESA認定心理カウンセラー 榎本 恵理子さん					
受講定員	各回10人	満足度	93%	新規参加者率	70%	
内容	実施日時・場所	申込人数	参加人数	充足率	保育人数	
	4月27日(土)	10人	10人	100%	2人	
	5月22日(水)	10人	10人	100%	1人	
	6月30日(日)	10人	8人	80%	0人	
	7月29日(月)	10人	9人	90%	2人	
	8月31日(土)	10人	10人	100%	1人	
	9月26日(木)	10人	10人	100%	0人	
	10月27日(日)	10人	10人	100%	0人	
	11月29日(金)	10人	10人	100%	1人	
	12月21日(土)	10人	10人	100%	4人	
	1月23日(木)	10人	10人	100%	1人	
	2月23日(日)	新型コロナウイルス対策により中止				
	3月23日(月)					
		<p>【感想】アンケート回収枚数 97枚/97人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を客観的に見ようという気持ちが湧きました。普段からネガティブな感情で自己否定しがちなので自分の機嫌をとることの大切さを実感しました。心に響く言葉が多かったです。ありがとうございました。 ・あっという間の90分でした。大変勉強になりました。兄にもぜひ受講を促そうと思いました。入門、叱り方講座も受講したいと思います。自分の肯定感がひくいから怒りにつながっている事が分かりました。怒りを数値化して、怒りが出たら動作を先にして呪文を唱えて6秒ルールを思い出そうと思います。ありがとうございました。 ・イライラする自分がどういう状況なのかを学ぶことができてよかった。怒りが出る自分自身についてしっかり見つけたい。まいつか…の生活ができるように変わりたい。 				
ちらし・講座の様子						
評価と今後の改善点	毎回、予約開始日で定員がいっぱいになることが多い講座で、時折キャンセルが出るのでキャンセル待ちも受付するように改善し、毎回定員いっぱいまで参加していただくことができるようになった。引き続き、より多くの方が参加できるよう工夫をしたい。					

令和元年(2019年)度事業報告書

事業名	ゆるやか女子会						
目的	生きづらさを抱える女性が積極的に自らの一歩を踏み出す契機を提供するとともに、エンパワメントをサポートする。						
対象	人間関係や生きづらさに悩む16歳以上の女性						
	充足率	30~80%	受講者満足度	100%	新規受講者率	12~50%	
講師	①③⑤⑦⑨⑪ アトリエジータ 中村豊子さん			②④⑥⑧⑩⑫ ローズWAM職員			
内容	講座日時・場所	内容		受講者所感		定員数	参加者数
	4月12日(金) 午後1:00~3:00 402号室	コラーージュ		<ul style="list-style-type: none"> ・時間が短いと感じるくらい集中して頭の中がいろいろな思いでいっぱいになった。 ・初めての経験で上手くできるか不安だったが自分自身の子育ての思いを反映してまがりなりにも完成できたのかなと思う。 ・心が落ち着いてすっきりした 		10	5
	5月11日(土) 午後1:00~3:00 ローズホール	《リラクゼーション》 ・自律神経の基礎知識について ・呼吸法について ・セルフコントロール法の説明と実践		<ul style="list-style-type: none"> ・家でリラックスする時間がないが、こちらではウトウトするほど気持ちがよくリラックスできた。 ・講座と実践があり、今日は初めから終わりまで気持ちよかったです。 ・ゆるい感じで参加できた。次回も参加したい。 ・気分が楽になった。 		10	7
	6月14日(金) 午後1:00~3:00 402号室	コラーージュ		<ul style="list-style-type: none"> ・コラーージュの経験はあったが、今日はまったく違う写真に魅かれ、新しい発見の作品ができた。 ・無意識に自分の中にあるものが出るものなんだなと思った。 ・毎回集中して楽しめる。 		10	6
	7月13日(土) 午後1:00~3:00 402号室	ポストイット整理法 共同描画		<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の皆さんが始まったときより明るい表情になられていてよかった(たぶん私もそう) ・とても楽しく、自然に表現ができ、参加された方々が皆、素直な気持ちで表現していたと感じました。 ・みんなが描いてくれた絵部屋に飾ります。 		10	5
	8月9日(金) 午後1:00~3:00 405号室	コラーージュ		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回楽しみにしていて、落ち着いた気持ちで表現ができる唯一の時間となっている。 ・最初に比べたら色々前に進んでいる気がする。 ・心が癒された。 ・一歩進めた。 ・自分を表現する楽しさを感じる事が出来た。 		10	4
	9月6日(土) 午後1:00~3:00 405号室	アサーションによる気持ちの良い人間関係のためのコミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを表現して良いということを知り、今までの息苦しさも解放されていく気がした。 ・主に仕事場で使うテクニックかと思っていたが、自分が生きやすくなるためのものであると教わり、世界が広がった。 ・今の自分の状態を知ることができて良かった。 		10	8
	10月11日(金) 午後1:00~3:00 402号室	パステルアート(曼荼羅)		<ul style="list-style-type: none"> ・創作に没頭する時間が持てて、かつ、ふんわりと素敵な雰囲気の中でできて、迷いつつも参加させていただけで良かったです。 ・新しい体験で集中できました。あつという間の2時間でまた次回も参加したいです。 		10	8
	11月9日(土) 午後1:00~3:00 402号	ポストイット整理法 パーソナルスペースを感じてみよう		<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかったです。 ・自由に発表できて楽しかった。 		10	3
	12月13日(金) 午後1:00~3:00 405号室	パステルアート(曼荼羅)		<ul style="list-style-type: none"> ・今の自分の気持ち、感情の持っていきその場所づくりができてとても落ちついた。 ・どういものになるのか全く想像がつかなかったけど、出来上がったなら、今はこういう気持ちなのか、と自分の内側を見られたので良かった。いろいろな方の作品が見られて楽しかった。 		10	8
	1月11日(土) 午後1:00~3:00 ローズホール	《リラクゼーション》 ・自律神経の基礎知識について ・呼吸法について ・セルフコントロール法の説明と実践		<ul style="list-style-type: none"> ・講座と実践があり今日は初めから終わりまで気持ちが良かったです。今後このような講座があればよいと思った。 ・気分的に楽になった。 		10	3
	2月14日(金) 午後1:00~3:00 405号室	パステルアート(曼荼羅)		<ul style="list-style-type: none"> ・予想以上にいいものができました。 ・とても楽しかったです。簡単ですが奥深く面白かったです。 ・いつも楽しみで癒されます。ありがとうございます。また次回もお願いしたいです。 		10	5
3月14日(土) 午後1:00~3:00 405号室	アサーションによる気持ちの良い人間関係のためのコミュニケーション		新型コロナウイルス対策のため中止				
講座様子 ・ちらし							
評価と今後の改善点	平日と土曜日、アートとワークショップを隔月で設定した。日程の都合、あるいは内容による選択のためか、偶数月のみの参加者が多かったり、一回のみの参加者も見られたが、参加者同士で会話が弾む場面があったり、複数回の参加で顔見知り感を持つ参加者も増えつつあるので、今後も継続できるよう参加者のニーズの把握に努める。前期、後期の2クール制のため、継続参加者にとってはワークショップが似たような内容となるためか、後期のワークショップの参加者が少なめであった。しかし、受講者の満足度は高いので、新規の受講者が増えるよう周知、集客の方法改善が必要である。						


令和元年(2019年)度事業実績

事業名	思春期教育講演会				
目的	思春期は、第二性徴期を含み、身体的にも精神的にも大きな変化を経験する時期であり、この時期に性に関する正しい知識、自己決定、自己責任等を学ぶことには重要である。デートDV・性暴力の防止、予期せぬ妊娠予防、セクシュアルマイノリティへの理解などを目的として、思春期教育に携わる職員等が、思春期における性の現状や取り組みについて学ぶ機会とする。				
対象	思春期教育に携わる職員、教員、関係団体				
内容	講演名・講師	日時・場所	内容	定員人数	50人
	思春期のこころのからだ ハートブレイク思春期教育研究所 黒瀬 清隆さん	令和元年11月27日(水) 午後3:30~5:00 501・502会議室	・思春期教育から見ること ・健康教育(性教育)の現状と必要性 ・性を伝えるために ・発達段階にある「子ども期」について ・性教育としての効果的なアプローチ ・性教育の実践	申込人数	52人
				参加人数	48人
				充足率	96%
				満足度	100%
	アンケート結果(回収数 38人) 【参加者所属】 ①教職員26人 ②市職員1人 ③市保健師8人 ④市民団体2人 ⑤NPO1人 【満足度】 大変よかった31人 よかった6人 ふつう・あまりよくなかった・よくなかった0人 【この研修会は活かせるか】 おおいに活かせる17人 活かせる21人 あまり活かさない・活かさない0人 【どのように活かせるか】 ・たくさんの教材をみせてもらったので活用したい。 ・プラスイメージがもてるような指導方法が学べた。 ・生徒が受け入れやすい楽しい性教育を学べた。ぜひ実践したい。				
内容	学校で配慮と支援が必要なLGBTsの子どもたち 宝塚大学看護学部 日高 庸晴教授	令和元年12月5日(木) 午後3:30~5:00 501・502会議室	・性的指向と性自認に関連する国の動き ・LGBT/性的マイノリティとは ・憎悪犯罪 ・国連やオリンピック委員会の動き ・性的マイノリティの子どもたちの現状 ・どんな取組が必要か ・安心して話せる環境とは	定員人数	50人
				申込人数	52人
				参加人数	49人
				充足率	98%
				満足度	93%
	アンケート結果(回収数 41人) 【参加者所属】 ①教職員30人 ②市職員2人 ③市保健師8人 ④市民団体1人 【満足度】 大変よかった31人 よかった7人 ふつう3人 あまりよくなかった・よくなかった0人 【この研修会は活かせるか】 おおいに活かせる18人 活かせる21人 あまり活かさない2人 活かさない0人 【どのように活かせるか】 ・まずは職員で共有して、職員の意識改革につなげたい。 ・きれいごとではない、実際の子どもたちの「声にだせない声」がある。そのことを踏まえて市民の方の対応をせねば。 ・雰囲気作り、何気ないひとこと、そういったことから大事にしたい。				
評価と今後の改善点	定員に対し100%を超える申込状況であり、講演テーマとしては関心・ニーズの高いものであったことがうかがえる。また、受講後の満足度も100%と高く、内容も評価の高いものであった。今後も、さまざまな主体と連携しながら、デートDVや予期せぬ妊娠、セクシュアルマイノリティなど性についての学習の機会を設けていきたい。				

令和元年(2019年)度事業実績



事業名	暴力防止啓発講座				
目的	(性)暴力被害にあう女性が低年齢化しており、また、被害の状況として性産業との関連も問題となっている中、その大きな原因の一つであるSNSとともに、若年女性を取り巻く現状を把握し、その被害の予防について啓発する機会とする。				
対象	市内在住、在勤、在学者				
受講定員	60人	申込数	48人	参加数	47人
充足率	80%	満足度	97%	新規受講者率	—
保育定員	10	申込数	1	当日数	1
内容	講座名	日時・場所	内容		講師名
	「知っていますか？イマドキ女子中高生のリアル～生きづらさを生きる子どもたちを守るには～」	11月11日(月) 午後3:30～5:00 501・502号室	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルネイティブ世代の連絡手段 ・人工妊娠中絶、未受診出産、虐待による死亡、性犯罪被害、性感染症、貧困(率)など ・JKビジネス、パパ活など 		大阪府子ども家庭サポーター 辻 由起子さん
感想	<p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厳しい現実に辛くなったが、子ども達の明るい未来のために、もう一度自分でじっくり考えて、子ども達に今日の事を還元したい。 ・とても勉強になった。ネット社会に生きる現状は、思った以上にショッキングだったが、そこをどう学び選択していくかを私たち大人がきちんと伝えなければとひしと感じた。 ・本校には若年妊婦さんや被虐待の生徒さんが他校と比較すると多く通っている。このような状況にある生徒さんに寄り添ったサポートをしたいと思い、本日参加させていただいた。とても勉強になった。 ・子ども達の状況がここまで来ているのかと驚いた。 ・10代の子ども達と日々接しているながら、まだまだ知らない事がたくさんあることを実感した。 				
講座様子・ちらし					
評価と今後の課題	参加者の感想から、子どもたちの現状がここまでとは知らなかったというかたが少なくなかったことから、今後も、子どもを守る立場の方々への啓発の必要性はあるが、当館で開催する講座という形以外にも考えられるので、多様な媒体や会場での啓発を検討する必要がある。				

令和元年(2019年)度事業実績


事業名	暴力防止啓発講座(茨木市DV防止ネットワーク連絡会研修)				
目的	DV被害者の支援に関わる行政職員や民間の支援者それぞれが、被害者自身やおかれている状況を正しく理解し、共通認識をもって連携しあえる素地作りとする。				
対象	市内在住、在勤、在学者				
受講定員	60人	申込数	40人	参加数	38人
充足率	63%	満足度	86%	新規受講者率	—
保育定員	—	申込数	—	当日数	—
内容	講座名	日時・場所	内容		講師名
	DV被害者の支援者講習会 ～DV被害者支援における連携の意義と具体的手法について～	12月12日(木) 午後3:30～5:00 501・502号室	<ul style="list-style-type: none"> ・DV防止法 ＜効果的な支援のために＞ DV被害者の特徴 DV被害者の支援の特徴 連携・協働のプロセス 		大阪府立大学 名誉教授 コラボレーション 実践研究所 所長 山中 京子さん
感想	<p>【感想・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他機関とケース会議を行う機会が多く、意見の対立があり、議論が深まらないことが多々あります。今後のケース会議ではGITTを心がけたいと思います。 ・DV被害者支援のあり方にとどまらず連携・協働では専門職として意識することで自分の支援枠が広がると感じました。 ・退所後の地域生活の支援、見守りの連携が少ないことは日常の業務でも感じます。今までにDV被害者に関して直接CSWへの連携は少ない…ように思います。地域で再出発される方の生活が根付くところまでサポートできると思います。 ・先生は“当たり前のことですが…”とおっしゃっていましたが、日々の業務の中でこの当たり前が以外に難しいなと痛感します。とても参考になるお話だったので、意識して取り組んでいきたいと思います。 ・「協働」という語句を知ってから15年ほど経ちましたが実践されている機関がなかなか広がらないのだなあと感じました。枠を崩す、実質的機能の向上を図らねばと思いました。 				
講座様子・ちらし					
評価と今後の課題	茨木市DV防止ネットワーク連絡会の研修会を兼ねた講座であり、対象を一般市民の方々になく支援者および関係者としているが、連携が特に必要であろう関係者の参加が、想定より少なかったと考える。内容については、参加者の感想にもあるように、概念的な部分を中心であったので、今後は実践的な内容を中心としたものが必要と考える。ただし、まだ受講されていない支援者や関係者がおられることもあり、繰り返し基礎的な内容の研修を実施することもまだ必要である。				

令和元年(2019年)度事業実績



事業名	いばらき×立命館DAY2019 ローズWAM企画 パープル&オレンジリボン(STOP DV/児童虐待)プロジェクト ～カラーペーパーでメッセージカードをつくろう～				
目的	DV防止のシンボルであるパープルリボン等をモチーフにした手作り体験を通して、DVや児童虐待など親しい間柄でおこる暴力の防止を図る。				
対象	どなたでも				
受講定員	60	申込数	—	参加数	60
内容	実施日時・場所	詳細		講師名	
	令和元年5月19日(日) 午前10:00～午後4:30 立命館大学いばらき キャンパス イベント ホール	カラーペーパーを使ってメッセージカードを作成してもらい、パープルリボン・オレンジリボン・ピンクリボンの趣旨を知ってもらう。 DV防止啓発ピンバッジの周知をはかる。		ローズWAM市民サークル講師 槇本恵理子さん	
当日の様子	<p>イベント自体への参加も多く、会場は賑わっていた。少し待ってもらう人も数名いたが、概ねスムーズに流れていた。</p> <p>受付時やお子さんのワーク中、保護者に暴力防止運動や啓発バッジについての説明をし、運動の趣旨を理解してもらった。待っている保護者の方を中心に、パープルの花を作成してもらい、大きなモニュメントを作成した。</p> <p>多数の方に参加してもらい、運動の周知につながったと思われる。</p> <p>ワーク参加 60人</p>				
講座様子・ちらし					
評価と今後の改善点	イベントの参加者は多く、ワークを通してパープルリボンの意味を知ってもらい、運動の周知につながった。今後も継続して、今回のような出前型での取組など、DVや虐待等防止に向けて、多くの方に知ってもらえるような方法や媒体を検討していく必要がある。				

事業名	パープルリボンキャンペーン		
目的	「女性に対する暴力の防止」についての啓発を行う		
対象	ローズWAM来館者		
実績	①ハートドロップ参加者 → 72人 ②各種リーフレットの持ち帰り → 116部 ③啓発グッズ(手作りしおり)持ち帰り数 → 284個		
内容	講座名	時・場所	内容
	①ハートドロップ	11月1日～30日 ローズWAM 1F エントランス にて常設展示	来館者に、若年女性に対する暴力の防止及び被害女性等への応援(支援)メッセージカードを作成してもらい、掲示する。
	②「知っていますか？今女の子たちに起こっていること」		・若年女性に対する暴力防止の啓発パネル(パパ活・JKビジネス・デートDV・リベンジポルノ)の展示 ・各種リーフレットの配布 ・啓発グッズとして、パープルポンポン、手作りしおりを配布。
③パープルリボンモニュメントの展示	茨木市役所本館 1F エントランス	千羽鶴のパープルリボンモニュメントの展示。	相談グループ
所感・感想	<p><ハートドロップメッセージより></p> <ul style="list-style-type: none"> ・STOPザ暴力 ・他人を思い通りにしたい・・・これが暴力のはじまり。ここからやめよう。他者にやさしく！ ・暴力はどんな理由があってもしてはいけない。自分を大切に・・・そして相手も尊重して・・・ ・神戸の教員による件にも見るように男性も暴力にさらされている事を看過しないで欲しい。男性の方が見えにくい分、凶悪かもしれない・・・ ・自分は自分でいい。でも、自分って・・・？もし見失ったら、落ち着いて考えてみて。1人じゃない。必ず何か道がある。 		
展示の様子	 		
評価と今後の改善点	<p>展示の内容を『WAM通信』や暴力防止啓発講座と関連付け、若年女性への暴力防止に絞って実施した。ハートドロップについては、想定していた以上に児童からのメッセージが多く見られたが、若年被害者世代への直接の啓発というよりは、その保護者、祖父母世代がやはり多かったと思われる。日常から若年の来館者を増やす取り組みと合わせ、展示の内容に沿った来館者増員の工夫が必要である。</p>		

令和元年(2019年)度事業実績

事業名	こころのケア講座 & 語り合い(全11回)					
目的	DVの被害にあった(あっている)女性が気づきを得て、回復し、自らの力を取り戻し、自立に向かっていけるよう支援することを目的とする。					
対象	DV(夫や恋人からの暴力)等の被害に遭った(遭っている)女性(精神的暴力も含む)					
講師	こころのケア講座認定ファシリテーター					
	充足率	16%	満足度	100%		
受講定員	10人	保育定員	5人			
内容	日時	内容	詳細	参加人数	保育人数	感想 【プログラム感想】 ・気持ちが楽になった。 ・気づきがあった。 ・変わるかもしれないと思った。 ・しんどかった。 ・自分になにが起こっているのか知ることができ、とても良かったです。ただ、これからどのようにしていけば、自分自身や子どもにとって良いのか、具体的な所がまだ分からないので、その辺りを知っていききたいなと思います。 ・一年間、講座に参加させて頂き、自分だけじゃないと思った事、前に進んであるいていける。話をきいてよかったです。
	①4月26日(金) 午前10:00～ 正午	①DV・トラウマを理解する	①DV＝暴力ではなく、加害者と被害者の関係性のこと。暴力が心に残す深い傷、トラウマについて学ぶ。	3人	0人	
	②5月24日(金) 午前10:00～ 正午	②境界線	②人と人との関係性の中で「境界線」を色々な形でイメージする。自分も相手も大切に出来るコミュニケーションとは。	4人	0人	
	③6月28日(金) 午前10:00～ 正午	③語り合い	③語り合い	0人	0人	
	④7月26日(金) 午前10:00～ 正午	④「世間の枠」と私らしさ	④世間がこうあるべきという枠を理解し、その枠をはずして自分らしい生き方を意識していく。	2人	0人	
	⑤8月23日(金) 午前10:00～ 正午	⑤語り合い	⑤語り合い	0人	0人	
	⑥9月27日(金) 午前10:00～ 正午	⑥精神的暴力・モラルハラメント	⑥精神的な暴力、モラハラとは、どのような暴力なのか、暴力を受け続けるとどのような影響がでるのか。暴力による反応と行動は、被害者が自分を守るためにしていた行動だと気づく。	3人	0人	
	⑦10月25日(金) 午前10:00～ 正午	⑦語り合い	⑦語り合い	0人	0人	
	⑧11月22日(金) 午前10:00～ 正午	⑧育った環境・子どもへの影響	⑧DV家庭の中での子どもの状況、親子の関係性、傷つきや影響を学び、どのように自分をケアしていったらいいのか。	2人	0人	
	⑨12月20日(金) 午前10:00～ 正午	⑨語り合い	⑨語り合い	0人	0人	
	⑩1月24日(金) 午前10:00～ 正午	⑩傷つきによる喪失とグリーフ	⑩大切なものや人を失ったときに感じる感情や反応グリーフを受け止め、適切にグリーフケアすることが大切である。	2人	0人	
⑪3月27日(金) 午前10:00～ 正午	⑪語り合い	新型コロナウイルス対策のため中止				
講座様子・ちらし						
評価と今後の改善点	講座では、暴力やトラウマとなるような傷つきは、まず自分に起こっていることを正しく把握し、誰にでも当然の反応が起こっていることに気づいてもらう。これが回復へのスタートになることを参加者に知ってもらうきっかけになったという点で評価できる。課題としては、参加者の状況によっては、まだ語り合いの場に出ることにハードルが高いことがあることがわかった。次年度は、暴力から離れた参加者、暴力の渦中にある参加者(DVのステージ)や、参加者の状況によって、語り合いにアートを取り入れたり、講座の質問を受ける時間にしたり、参加しやすい工夫をしていきたいと思う。					

令和元年(2019年)度事業実績

事業名	被災経験から学び合う女性のための防災講座(2回連続講座)				
目的	災害が多発する昨今、自分の身を守る自助力はもちろんのこと、地域で支え合う共助力、地域防災力の向上が不可欠であり、今後の防災活動においては、男女共同参画の視点に配慮した取り組みが必要である。そのため、自助力、共助力を高め、性別にかかわらず活躍できる防災について考える機会とする。				
対象	市内在住、在勤、在学者の女性				
受講定員	各回30人	満足度	100%	新規参加者率	16%
内容	講座名・講師名	日時・場所	内容		
	① 私にできること「自助」について考えよう 一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会 福祉防災上級コーチ 上園 智美さん	令和2年2月3日(月) 午後2:00~4:00 会議室501・502	「自助」について考える ・昨今発生した台風・地震・水害の状況 ・災害を経験して困ったこと、どんな備えが必要かを考えるグループワーク	定員人数	30人
				申込人数	40人
	② みんなにできること「共助」について考えよう 減災と男女共同参画研修推進センター 共同代表 浅野 幸子さん	令和2年2月14日(金) 午後2:00~4:00 会議室501・502	「共助」について考える ・避難所運営の基礎知識 ・要配慮者支援について考えるグループワーク	参加人数	39人
充足率				130%	
			保育人数	1人	
			【感想】アンケート回収枚数 38枚 ・ワークショップ形式でさまざまな考え方や経験がきけたのがよかった。 ・大阪北部地震での体験を改めて思い出し、防災について考えることができた。 ・被災体験をもとに、その時にあったらよかった、しておいたらよかったと思ったことや物については、次の時には困らないように過ごせるよう準備したい。		
			【感想】アンケート回収枚数 35枚 ・具体的に考えてみることで、緊急時の心構えをきちんともたないといけないと再認識できました。自治会ごとにこのワークをしたらいいなと思いました。 ・地域でこのワークをやったらもっと具体的な課題がみえると思った。新しいメンバーを増やしたい。 ・目の不自由な方や耳の不自由な方などの困りごとになかなか気づけないというところに気づかせてもらった。 ・あえて、ワークに時間制限をしているところが、臨場感があってよかった。災害時はのんびりしてられないですね。 ・女性ばかりだったので、気兼ねなく話せる環境がよかった。		
講座様子	 				
評価と今後の改善点	定員に対し、申込が多く、充足率の高い講座であった。また、2回連続講座で2回ともグループワークを多く取り入れた内容濃いものとなっており、受講者の満足度も高い結果であった。また、地域防災会への入会を決められた方もおられたので、地域のつながりの橋渡しにもなった。ニーズのある講座であり、今後も内容を充実させて実施していきたい。				

令和元年(2019年)度事業実績

事業名	男女共同参画週間記念上映会・講演会 多様な家族のあり方 ～弁護士夫婦(ふうふ)のカラフルな毎日～				
目的	男女共同参画週間に合わせ、上映会および講演会を開催することで、男女共同参画社会実現のための啓発を目的とする。平成31年度の男女共同参画週間キャッチフレーズ『知る 学ぶ 考える 私の人生 私がつくる』に合った、生涯を通じた男女のこころとからだの健康「LGBT」についての学習に重点を置くことで、性的マイノリティに対する理解を育み、誰もが生きづらさを感じない社会の実現を目的とする。				
対象	小学生以上(小学生は保護者同伴)				
受講定員	180人	申込数	180人	当日数	163人
保育定員	10人	申込数	2人	当日数	2人
充足率	91%	受講者満足度	82%	新規受講者率	13%
内容	実施日時・場所	詳細		講師名	
	令和元年6月22日(土) 午後1時～4時30分 ワムホール	講師を追ったドキュメンタリー映画の上映会と、それを下敷きにした講演会の組合せ。講演では、現在の日本においてLGBTを取り巻く環境や問題点を、映画の内容や講師の体験も交えながらお話しいただいた。「普通」「常識」という考えが定着した社会そのものが生きづらさをもたらしてしまっており、まずそれに気付くことが大切とのことであった。		なんもり法律事務所 弁護士 南 和行さん 弁護士 吉田 昌史さん	
アンケート結果	回収数	134人			
		【感想】 大変満足 81人 おおむね満足 29人 やや不満 0人 大変不満 0人 無回答 24人 【意見】 ・映画と講演会の組合せは理解がしやすい。今後も続けてほしい。 ・以前からお二人のことは新聞等で存じていたが、生の話を聞いてよかった。 ・LGBTというくりの言葉を使わず「みんな誰を好き？」と性別関係なく話せる社会が来たらいいなと思った。 ・これまでLGBTについては理解できなかったが、今回映画と講演を通じて、普通のことなんだとすんなり理解できたことに、自分でも驚きました。 ・戸惑わせてるのは社会だということ認識する必要があるし、自分が無自覚に人を傷つけていることもあるということを意識したい。お二人の自然な感じがとても素敵だった。 ・お話を伺い、自分の「普通」や「常識」に思い込みや固定観念が無いか、疑っているところです。 ・自分の中でもやもやしていた部分がストンと腑に落ちたお話があった。 自分は当たり前「普通」でいることを周囲に強制していた部分があったように思う。反省です。 ・「豊かな社会とは何か」を深く考えさせられるお話でした。			
講演会様子・ちらし					
評価と今後の改善点	<p>講師のお二人のご講演は大変素晴らしく、参加者の満足度は大変高いものだった。講演会前にお二人を追ったドキュメンタリー映画を上映したことも、初の試みではあったが大変効果的で、その後の講演会の理解をより深めることができた。</p> <p>講演会の後日に、当日の質疑応答の代わりにWAMのホームページで公開した寄稿コラムも、大変ためになる内容でありながら読み物としても面白く、総じて今回の講演会は大成功だったと言える。あえて言うならば、参加者の半数以上が60歳以上であり、40歳未満の世代は全体の2割に満たず、他の講座にも言えるが参加者の層が固定されている印象がある。また、今回の講演会は、ワムホールの定員180名をすべて埋めるだけの申込があったが、前年度に同一内容で同一講演会を行おうとした(地震により翌年度(=今回)に延期)際は、申込者数が今回の半分程度だった。ここ1年でLGBTへの認知度が高まっている時勢もあり、今回の結果に繋がったと言える。</p>				

令和元(2019年)度事業報告書

事業名	男女共同参画基礎講座											
目的	人々の間にある経済格差や世代格差に加え、伝統的・文化的に根深く染み付くジェンダーギャップが存在するなか、女性も男性も、社会でも家庭でも活躍を求められている。これらは性の区別だけではなく、多様な人間がそれぞれの力を発揮することで支えあうことが、最終的には男女共同参画社会の実現につながるのではと考える。この講座はそのような視点から、ひろく市民に理解を求め啓発を促す。											
対象	どなたでも											
内容	講座日時・場所	内容					受講者所感					
	6月13日(木) 午前10:00～正午 501・502会議室	ジェンダーとは ～なぜ男女共同参画は必要なのか～ これまでのジェンダー史を振り返りつつ、多様な性についての理解を深め、性別、年齢、人種に関係なく、全ての人が尊重されるような、男女共同参画のありようを考える。					・あらゆる社会問題や事件等々の背景にジェンダーがあるということがよくわかりました。そんな中にどっぷり浸かって暮らしている自分自身にあらためてはっとさせられる時間でした。まさに、麻痺している。子どもの問題を通して、ジェンダー、男女共同参画・共生を考えるという視点、すごいなと思いました。 ・自分の中にある「男らしさ 女らしさ」の固定観がまだまだある事を思い知らされました。講座を受けるたびに気づきますが、しばらくするとともに戻るのは、染みつくとなかなか取れないものなのですね。					
	講師	NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西 理事長 田上時子さん										
	受講定員	40人	申込数	43人	参加者数	42人	充足率	100%	受講者満足度	88%	新規受講者率	0%
	6月28日(金) 午前10:00～正午 ワムホール	災害から、命と健康、本当に守れますか ～高齢者・障害者・子ども・女性の視点から～ 災害に対してどのように自分を守っていけばよいか、どんなことに困るのか。高齢者、障害者、子ども、女性のそれぞれの視点から自分も他者も守れるヒントを学ぶ。					・訓練のあり方を考える参考になった。まず、身近なところから取り組める地域のコミュニティの大切さを実感できた。 ・家庭の中のマネジメントをする人が、家の中の防災について準備する。それぞれの得意な分野で防災の担い手として活躍することが大切だと改めて知ることになりました。防災についても男共同参画が重要なですね。					
	講師	減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表 浅野幸子さん										
	受講定員	100人	申込数	107人	参加者数	100人	充足率	100%	受講者満足度	89%	新規受講者率	8%
	7月5日(金) 午前10:00～11:30 501・502会議室	性の多様性とは？ ～誰もが生きやすい社会に～ 「セックス」「ジェンダー」「セクシャリティー」それぞれの性の概念について理解を深め、性の多様なひろがりについて学ぶ。					・最後に「まわりが変われば、当事者が生きやすくなる」という言葉がとても良かったです。偏見や差別をしないことが大事だと思いました。 ・誰もが生きやすい社会を考える、とても難しい問題ですが、今回をきっかけに本なども読みたいと思いました。 ・性の多様性はまだ知識をもっている方のほうが少ないと思うので、この講座に参加してよかったです。					
	講師	大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 教授 東優子さん										
	受講定員	40人	申込数	32人	参加者数	29人	充足率	72%	受講者満足度	77%	新規受講者率	8%
8月5日(月) 午前10:00～正午 501・502会議室	なぜ「家族」に暴力をふるうのか？ ～被害者支援のための加害者心理の理解～ 家族内暴力が生み出される背景や加害者の特性、そこから見える課題を理解することで、加害者への働きかけなどを考え、より良い被害者支援につなげる。					・表面上に見えている暴力や虐待には、深い原因があって、その根本的なところを解決しない限り連鎖されていく事に気付きました。 ・DV加害者、虐待者への支援についてのお話がとても印象に残りました。罰するだけでなく、脱暴力のためのシステム作りが必要だということを知りました。 ・暴力の根底にある男性らしさ。男性らしさから人間らしさとは何かを考える時代だと思います。						
講師	立命館大学 産業社会学部・人間科学研究科 教授 中村正さん											
受講定員	40人	申込数	55人	参加者数	42人	充足率	100%	受講者満足度	74%	新規受講者率	5%	
講座様子・ちらし	   											
評価と今後の改善点	男女共同参画についての基礎講座として、様々なテーマで実施したが、新規受講者は少なかった。また、4講座のうち重複している受講者も少なかった。個別のテーマに関心があるというよりは、「男女共同参画」に関心がある受講者が多かったことがうかがえる。今後は、男女共同参画に関する課題に直面していながら、まだその情報が行き届いていない市民へ届くようなテーマや開催方法を検討する必要があると考える。											

令和元年(2019年)度事業実績

事業名	WAMシアター(毎月第3木曜日実施)						
目的	映画DVDの上映を通して、広くローズWAMを周知し、来館の機会とする。また、自分らしさや性別にとらわれないことをテーマにした作品を上映することで、男女共同参画を考えるきっかけとする。						
対象	小学生以上(小学生は保護者同伴)						
定員	180人(保育定員10人)		上映時間	奇数月10:00～ 偶数月14:00～		場所	ワムホール
	映画タイトル	事前申込数	参加数	充足率	満足度	新規参加者率	保育当日数
4月	バグダッド・カフェ	147人	124人	69%	70%	8%	5人
5月	ライオン 25年目のただいま	105人	96人	53%	88%	15%	3人
6月	弟の夫	137人	120人	67%	88%	9%	2人
7月	とべないほたる pipi (キッズ)	180人	161人	89%	80%	60%	1人
9月	明日へ	90人	74人	41%	69%	8%	4人
10月	それでも夜は明ける	141人	117人	66%	74%	5%	1人
11月	ウェディング・バンケット	74人	68人	38%	71%	6%	1人
12月	そして父になる	122人	100人	56%	94%	43%	2人
1月	女たちの都	104人	100人	56%	77%	10%	2人
2月	ロバート・イーズ	100人	89人	49%	36%	6%	1人
3月	Girl Rising ～私が決める、私の未来～	新型コロナウイルス対策により中止					
アンケート感想	<p>同性として共感できる場所が多かった(4月)、女性が生き生きと描かれていた(1月)など、女性の活躍や思いを映画を通して感じてもらった感想。 私になにができるのか・・・(5月)、心を受け止めたいと思いました(9月)のような問題提起のきっかけになった感想。 LGBTの理解に役立つと思います(6月)、多様性の時代、とてもよい映画でした(11月)など、マイノリティに触れる感想。 また、7月のキッズシアターでは、みんなと同じでなくてもいいというような内容でよかったです(7月)と、子どもからの感想。 映画を通して、私たちが伝えたい男女共同参画のテーマが伝わっている。</p>						
ちらし							
評価と今後の改善点	<p>昨年、試験的に午前上映をしたところ、手応えがあったため、今年度は奇数月の午前上映(10:00～)と偶数月の午後上映(14:00～)を試み、より多くの方に来ていただけるよう工夫をした。 映画の選択において、奇数月は男女共同参画でも少し軽めのテーマ、偶数月は男女共同参画を深く考えてもらう映画を選んだ。午前上映は、幼稚園や就学されているお子さんが不在の間に観ることができるという点も好評いただき、実際、20～30代の参加者が増えた。また、午前上映は午後上映に比べてキャンセルが少ないことからその映画を本当に観たい方が参加されていくことがわかる。また、上映時間を過ぎると鑑賞できないというマナーも浸透し、開演時にバタバタすることもほぼなくなった。3月のシアターは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。上映予定だった「Girl Rising ～私が決める、私の未来～」は、3/8の国際女性デーに合わせて選んだものであった。チラシは前月から配架していたので、市民から問い合わせのお電話があり「この映画を観たかったのに」というご意見をいただいた。来年度、ぜひ上映したい。</p>						

令和元年(2019年)度事業実績

事業名	ワムワムらくご						
目的	女性落語家を通じ男女共同参画への理解を促進し、ローズWAM事業の周知を図る。						
対象	どなたでも	場所	地下2階 ワムホール				
定員	180人	申込数	事前申込なし				
内容	実施日	出演者	演目	参加数			合計
					女性	男性	
	4月14日(日) 午後2:00～	露の都 露の棗	真田小僧 時うどん	24	20	0	44
	5月12日(日) 午後2:00～	露の都 桂三扇	青菜 陰膳(石山悦子作)	48	22	0	70
	6月9日(日) 午後2:00～	露の都 露の陽照	猿後家 松山鏡	32	25	0	57
	7月14日(日) 午後2:00～	露の都 桂三扇	星野屋 どっこいせ幽霊	46	29	0	75
	8月11日(日) 午後2:00～	露の都 月亭天使	ハルちゃん(石山悦子作) 皿屋敷	30	25	0	55
	9月8日(日) 午後2:00～	露の都 桂三扇	転宅 パパは百点満点	28	27	0	55
	10月13日(日) 午後2:00～	露の都 露の眞	金明竹 七段目	31	20	0	51
	11月10日(日) 午後2:00～	露の都 桂三扇	鉄砲勇助 焼酎はいらんかいね(桂三枝作)	26	20	0	46
	12月8日(日) 午後2:00～	露の都 笑福亭鶴二	転宅 胴乱の幸助	60	33	0	93
	1月12日(日) 午後2:00～	露の都 桂三扇	初天神 現代版 近松心中物語(桂三枝作)	43	29	2	74
	2月16日(日) 午後2:00～	桂鞠輔 露の陽照	始末の極意 子ほめ	22	11	0	33
	3月10日(日) 午後2:00～	※新型コロナウイルス感染症対策の為、公演中止					
講座様子 ちらし	 						
評価と 今後の 改善点	<p>全体的に昨年度よりも参加者は増えている。 一般市民の前座募集をするが一部は埋まらない状況であった。一般市民の前座は集客が見込めるが、数年同じ人が募集しているため見直しを検討する。</p>						

令和元年(2019年)度事業実績

事業名	～子育て中の男女共同参画 連続講座～ WAMくらぶ				
目的	子育て中を知っておきたい男女共同参画の気づきを多くの方に発信する ・子育て世代対象のローズWAM事業の中で人気が高い2つの事業「自分ひとりで本を楽しむ日」「わむっこくらぶ」を含めて、連続講座形式にすることで、男女共同参画をテーマにした講座を受ける機会を設定する。				
対象	1歳から未就学児の保護者				
受講定員	15組×10回=150組 ★最少開催組数=①9回 ②③④8回	申込数	90組	参加数	65人
保育定員	15人×10回=150人	申込数	90人	当日数	69人
充足率	60%	受講者満足度	98%	新規受講者率	80%
内容	実施日時・場所	詳細		講師名	
	① ホップ・ステップ講座 ＜401・402＞ 4/17・5/20・6/19・7/19・9/19・ 10/18・11/18・12/19・1/22・2/20	① 必須「ホップ・ステップ講座」/午前10:00～12:00 子育て中を知っておきたい男女共同参画基礎講座 Hop・Step・Jump・・・初めの一歩 ★11/18:最少開催組数に満たず、見送り		① NPO法人 SEAN a.戎 多麻枝(理事) b.岩谷 美佐(理事)	
	② わむっこくらぶ ＜ローズホール＞ 4/24・5/27・6/26・7/26・9/26・ 10/25・11/25・12/26・1/29・2/27	② 子どもといっしょに遊ぼう! /午前10:00～11:00 手遊び・リズムあそび・パネルシアター等 子どもといっしょに遊ぶ ★11/25:最少開催組数に満たず、★2/27:新型コロナ対応		② ローズWAM 保育グループ/臨時職員	
	③ WAMカルチャー ＜ローズホール/401・402＞ 5/8・6/3・7/3・8/2・10/3 11/1・12/2・1/9・2/5・3/5	③ レッスンを楽しもう! /午前10:00～12:00 リラククス・リフレッシュ ★12/2:最少開催組数に満たず、★3/5:新型コロナ対応		③ ローズWAM/サークル講師 ★フラダンス:九鬼 昌子 ★ヨガ&ピラティス:岩崎 敬子 ★筆文字デザイン:服部 真実	
	④ 自分ひとりで本を楽しむ日 ＜ローズWAM館内＞ 5/15・6/10・7/10・8/9・10/10 11/8・12/9・1/16・2/12・3/12	④ ひとりの時間を満喫しよう! /午前9:30～12:00 時間内の好きな時間を館内で読書などを 楽しんで自由に過ごす ★12/9:最少開催組数に満たず、★3/12:新型コロナ対応		④ なし	
アンケート結果	<p>① ホップ・ステップ講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が幸せに生きるためのヒントが得られたように思う。 ・とても勉強になり、子どもと離れて深く考えることができた。 <p>② わむっこくらぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家にこもりがちでしたが、わむっこくらぶのおかげで良いルーティーンを過ごすことができた。 ・出し物のレベルが高くてビックリした。 <p>③ WAMカルチャー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラダンス/講師の魅力に感銘を受け、何でもチャレンジできると前向きになれた。 ・ヨガ&ピラ/とても満足。終わった後、とても気持ちよく感じ体も軽くゆがみが取れたのだと思った。 ・筆文字/念願の筆文字を体験出来て、嬉しかった。参加者ともいろいろ話せて交流ができてよかった。 <p>④ 自分ひとりで本を楽しむ日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これだけの時間を本を読むことに使えてありがたい!! ・いろんな本が読めて、ワクワクした。 				
	回収数	64枚			
講座様子・ちらし					
評価と今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に比べ申込数が少なかったが、参加者の満足度は高い。 ・WAMくらぶの出会いでサークルを作るグループがあり、どのようにWAM(男女共同参画)と繋げていくのか、「仕掛け」を考える必要がある。 				

令和元年(2019年)度事業実績

事業名 夏のリコチャレ in ローズWAM					
目的	・小学生を対象に楽しい科学実験等を体験することで、理工系分野への興味を引き出す機会とし、多様な進路選択の可能性を広げることを目的とする。 ・内閣府男女共同参画局が推進している「夏のリコチャレ」をイメージして、複数の講師依頼をして実施する。				
対象	小学生：1・2年生は保護者同伴				
定員	各15人	一時保育定員	各10人		
内容	実施日時・場所	詳細	講師名		
	① 令和元年 8月4日(日) 午前 10:00~11:30 5階 501・502	宇宙飛行士に挑戦! ~宇宙飛行士になるには~ ★協力:JAXA宇宙教育センター	立命館大学 総合科学 技術研究機構 客員研究員 船田 智史さん		
		申込数	15人(+キャンセル待ち:3人)	参加者	15人(女:9・男:6)+母:5・父:3
		充足率	100%	満足度	93%
		感想	とても楽しかった(10) 楽しかった(4) 難しかった(1)		
		心に残った事	先生のお話がとても上手で分かりやすく、引き込まれました		
		新規受講者率	【27%】 前に来たことがある(11) 今日のはじめて来た(4)		
	② 令和元年 8月7日(水) 午前 10:00~12:00 4階 404・405	石の秘密を発見!! ~宝石のかげらでストラップづくり~	NPO ZOO CAN DREAM PROJECT 代表・学芸員 福永 恭啓さん		
		申込数	15人(+キャンセル待ち:3人)	参加者	12人(女:7・男:5)+母:9・父:1
		充足率	80%	満足度	100%
		感想	とても楽しかった(11) 楽しかった(1)		
		工夫した事	・順番を決めて作った ・カラフルになるように選んだ		
		新規受講者率	【17%】 前に来たことがある(10) 今日のはじめて来た(2)		
	③ 令和元年 8月11日(日) 午前 10:00~11:30 5階 501・502	ロケットってどうやって飛ぶの? ~ペンシルロケットを作ろう~ ★協力:JAXA宇宙教育センター	立命館大学 総合科学 技術研究機構 客員研究員 船田 智史さん		
		申込数	15人(+キャンセル待ち:3人)	参加者	16人(女:6・男:10)+母:8・父:4 (連絡なし2人→当日3人参加)
		充足率	107%	満足度	94%
		感想	とても楽しかった(13) 楽しかった(2) 難しかった(1)		
		工夫した事	・飛ぶように思いを込めた ・糊付けに注意した ・飛ばし方の角度		
		新規受講者率	【6%】 前に来たことがある(15) 今日のはじめて来た(1)		
	④ 令和元年 8月18日(日) 午前 10:00~12:00 5階 501・502	IRISサイエンス・キャンパス 水飲み鳥をつくろう ★共催:大阪府立大学 女性研究者支援センター	大阪府立大学理系女子大学院生チーム IRIS(アイリス)		
申込数		15人(+キャンセル待ち:3人)	参加者	16人(女:8・男:8)+母:12・父:1 (1人キャンセル→きょうだい2人参加)	
充足率		107%	満足度	100%	
感想		とても楽しかった(12) 楽しかった(3) おもしろかった(1)			
心に残った事		・水飲み鳥が動いてうれしかった ・水飲み鳥のしくみのこと			
新規受講者率		【31%】 前に来たことがある(11) 今日のはじめて来た(5)			
講座様子・チラシ					
評価と今後の改善点	・講座内容により、「女子に限定」することはせず、小学生を対象とした。 ・申込開始日1時間で、キャンセル待ち+3名も含みアッという間に定員に達した。その後も申込多数あり。 ・船田講師のアドバイスで「JAXAコズミックカレッジ」に登録し、実験材料のキット&お土産等提供いただきより充実した内容となった。次年度も引き続き船田講師に依頼し、開催することが望ましい。				

令和元年(2019年)度事業実績

事業名	WAMキッズおはなし会				
目的	ローズWAMネットワークギャラリーに所蔵する男女共生等をテーマにした絵本を紹介、読み聞かせをすることで、男女共同参画や人権・命の大切さ等を考えるきっかけとし、合わせてローズWAMの周知を図る。				
対象	茨木市内小学校 学童保育室				
内容	実施日時・場所	詳細		担当者	児童数 (指導員数)
		読み聞かせ絵本	ワーク・その他		
	①豊川小学校 学童保育室 5月29日(水) 午後3:30~4:15	1. ローズWAMとは(手作り絵本) 2. ぼくだけのこと 3. ねえ どれがいい? 4. ピンクがすきってきめないで 5. わたしはあかねこ	・ランドセルの色 ・大人になって したい仕事	情報 グループ	26人 (3人)
	②白川小学校 学童保育室 7月 22日(月) 午後3:00~3:50	1. 男女共同参画(手作り紙芝居) 2. はじめてのおつかい(大型絵本) 3. おりょうりとうさん 4. ぼくのママはうんてんし(紹介) 5. 見とってな! けんた! 6. じゃんけんぼんアイコでしょ 7. おとんとおかん	紙芝居「男女共同 参画」読み聞かせ 後、 家族の一員として 自分にできる仕事を 考え、発表する	保育 グループ	48人 (7人)
	③沢池小学校 学童保育室 7月24日(水) 午前10:00~11:45 【2部制】	1. ローズWAMとは(手作り絵本) 2. ウルフィーは、おかしなオオカミ? 3. ぼくはなきました 4. なまえのないねこ 5. おなじそらのした	・気持ちのワーク (絵カード: A4サイズ)	情報 グループ	89人 (8人)
④東小学校 学童保育室 8月 2日(金) 午後1:30~2:15	1. ローズWAMとは(手作り絵本) 2. みんなおなじでもみんなちがう 3. パパのしごとはわるものです 4. なまえのないねこ 5. ともだちやもんな、ぼくら 6. オレ、カエルやめるや 7. でんしゃにのって	・気持ちのワーク (絵カード: A4サイズ)	保育 グループ	46人 (5人)	
感想		ちらし・講座の様子			
読み聞かせ	<p>①参加型の絵本では、積極的に挙手して応えていた。</p> <p>②内容が身近なものばかりだったので、子どもたちに伝わりやすかった。</p> <p>③子どもたちの心に内容が響いた手ごたえがあった。みんながぎゅっと絵本に集中していた。</p> <p>④おもしろい場面では笑があり、その時々に応じて反応があった。</p>				
ワーク	<p>①選んだ色にはジェンダーの偏りはなかった。</p> <p>②子どもたちが自分にできることを真剣に考えていた。性別による仕事の固定概念は思っているより垣根が低かった。</p> <p>③1年生は気持ちの状況を説明する言葉までついてきたことに驚いた。学年別に分けられていて、積極性に偏りがでた。</p> <p>④気持ちを上手に説明できる子が多く、いろんな気持ちをみんなで伝え合うことができた。</p>				
評価と今後の改善点	<p>・多人数のため2回に分けたが、できれば1回が望ましい。分けるなら、学年別でなく「縦割り」がよい。</p> <p>・担当者の負担が大きくなっているため、「今年のテーマ」で司書に選書してもらい、ワークも統一したい。</p> <p>・昨年度より、依頼学校が少なくなっているため、夏休み直前に再度チラシを配付する等の工夫が必要。</p>				